



第10次中期経営計画

2022年6月期-2024年6月期

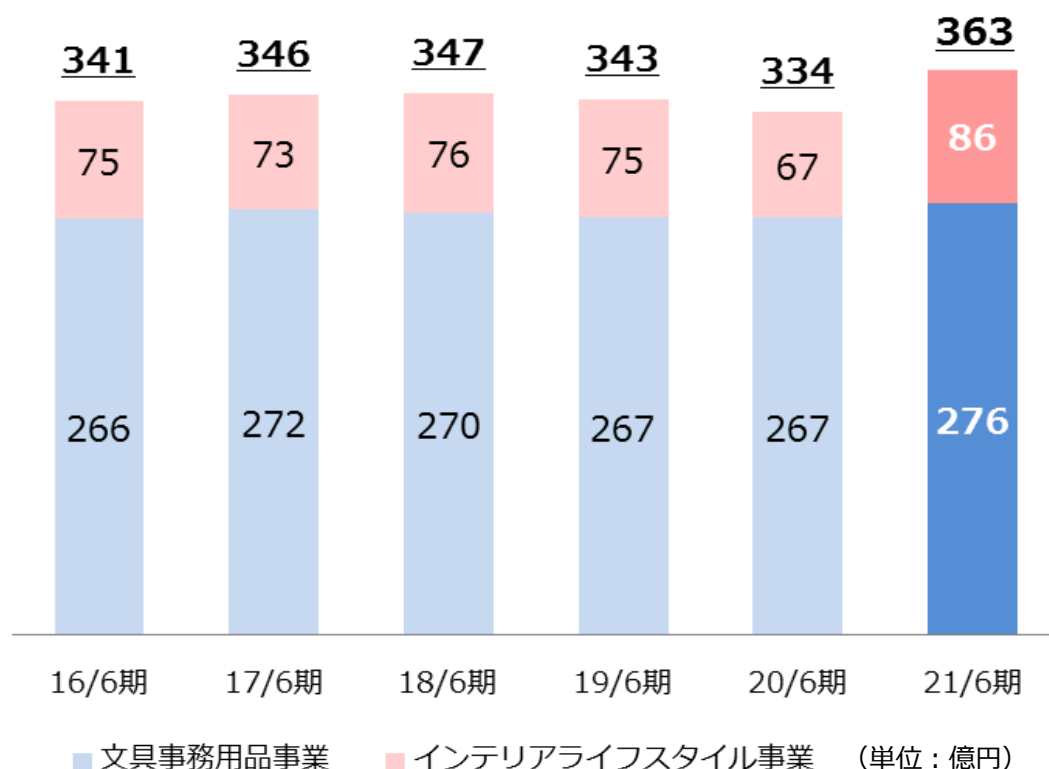
2021年7月30日

株式会社キングジム

第9次中期経営計画の業績レビュー

売上高

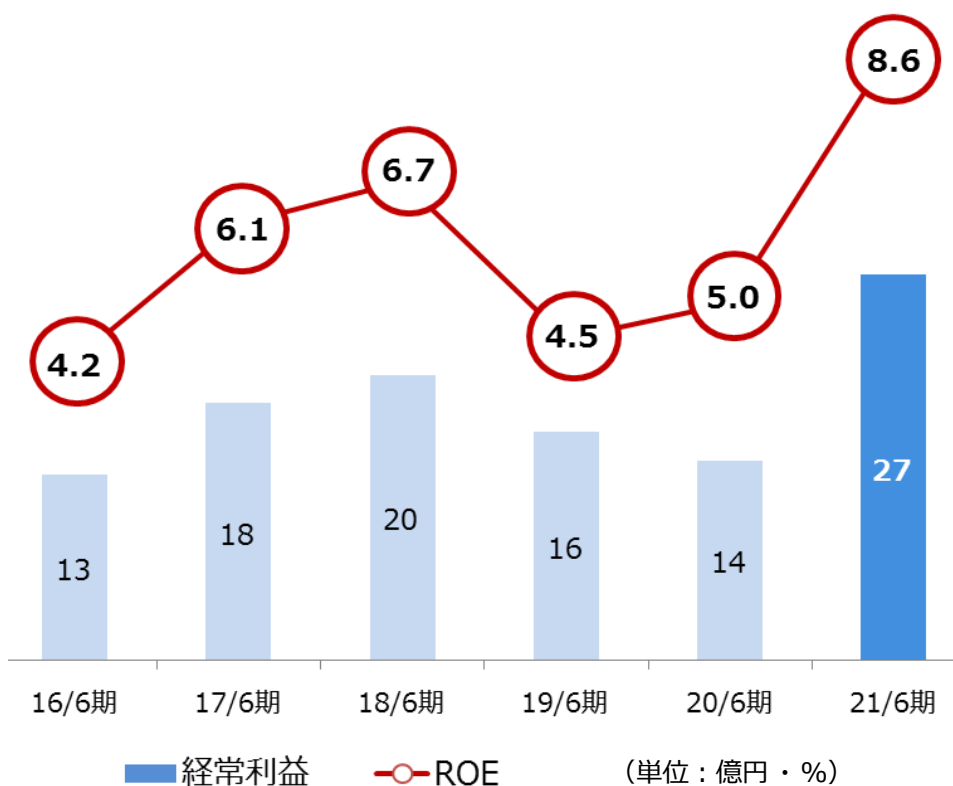
- 手指消毒器等の新しい生活様式に対応した製品の販売や、巣ごもり需要により(株)ぼん家具・(株)ラドンナの売上が好調に推移。
- 当初目標は未達成ながらも、修正目標は達成。



第9次中期経営計画の業績レビュー

経常利益・ROE

- 各利益、ROEともに当初目標を達成。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高益。



	21/6期	当初目標	修正目標 20/7/31修正	実績
営業利益		21億円	12.7億円	24.1億円
経常利益		23億円	14.9億円	27.5億円
当期純利益		16億円	10.3億円	19.6億円
ROE		7.0%	4.7%	8.6%

今後の展望と課題

展望

- 新型コロナウイルス感染症の先行き不透明 — 収束時期が見えない。
- 働き方・暮らし方の変革 — テレワーク定着とおうち時間の拡大。
- ペーパーレス化、デジタル化の進行 — 紙は減り、持ち物も変わる。

課題

ファイル依存の収益構造からの脱却

当社の強み

コロナ禍でも好決算

- **柔軟な開発体制と独創的で多彩な商品群**

- ステーショナリー以外にも電子製品や雑貨をラインアップ。

- **多様な販売チャネル**

- 特定チャネルに依存せず、多方面に展開。コロナ禍で好調のECチャネルも保有。

- **事業領域拡大とグループ経営推進**

- 文具事業にこだわらない。グループ内の経営資源を相互活用。

方針

成長分野への注力と基盤事業の更なる強化

アフターコロナに向けての基盤づくり

1

事業領域の拡大

- 新しい働き方・暮らし方に向けた商品の開発。
- 紙収納からモノ収納へ。雑貨や家庭用品の拡充。
- M&Aによりグループとして発展。

2

海外3工場の競争力強化

- 文具以外の生産技術の導入。
- 生産品目の拡大。

3

サステナビリティへの取り組み

- 暮らしとビジネスを便利で快適にする商品を通じた社会貢献。
- 地球環境に配慮した調達・設計・開発。気候変動への対応を実施。
- ダイバーシティの推進と多様な働き方の実現。

事業領域

基盤事業の 更なる強化

文具事務用品事業

● テプラ

ラベリング需要を掘り起こし、
新たな層を開拓。



● ステーションリー

既存カテゴリーの強化と
新規カテゴリーへの参入。



● 衛生・健康用品

新型コロナウイルス感染症で激変した
新しい生活様式に向けて展開。



● オフィス・生活環境用品

テレワーク、おうち時間向けの
商品ラインアップ拡大。



● デジタル文具

ワークスタイルの変化に合わせて拡充。



● 女子文具

雑貨を含めて広く訴求。



● その他新規分野

バッグ・収納用品、他。



成長分野 への注力

インテリアライフスタイル事業

ぼん家具、ラドンナ、アスカ商会
において、更なるグループシナジー
を発揮し、事業の成長スピードを
加速。



海外事業

Japan Qualityの
キッチン家電・
女子文具の
グローバル展開。

EC事業

効果的な
マーケティング・
取扱品目増により、
飛躍的に拡大。

M&A

積極投資により
事業ポートフォリオ
を拡充。

経営資源の配分

投資

● 成長分野への戦略投資の拡大

- 事業領域の拡大 100億円
- 新製品開発・生産設備投資 20億円
- 開発、海外事業をはじめとする成長分野に重点的に人材投資

● 効率化のための投資

- 販売物流システムの刷新 10億円

株主還元

● 配当性向40%

第10次中期経営計画 経営数値目標

売上高

480億円

文具事務用品事業 305億円

インテリアライフスタイル事業 125億円

M&A 50億円

経常利益

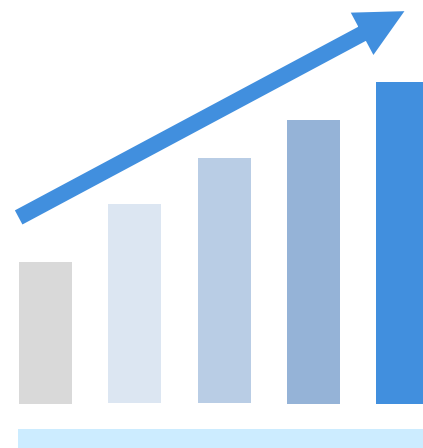
34億円

経常利益率

7%

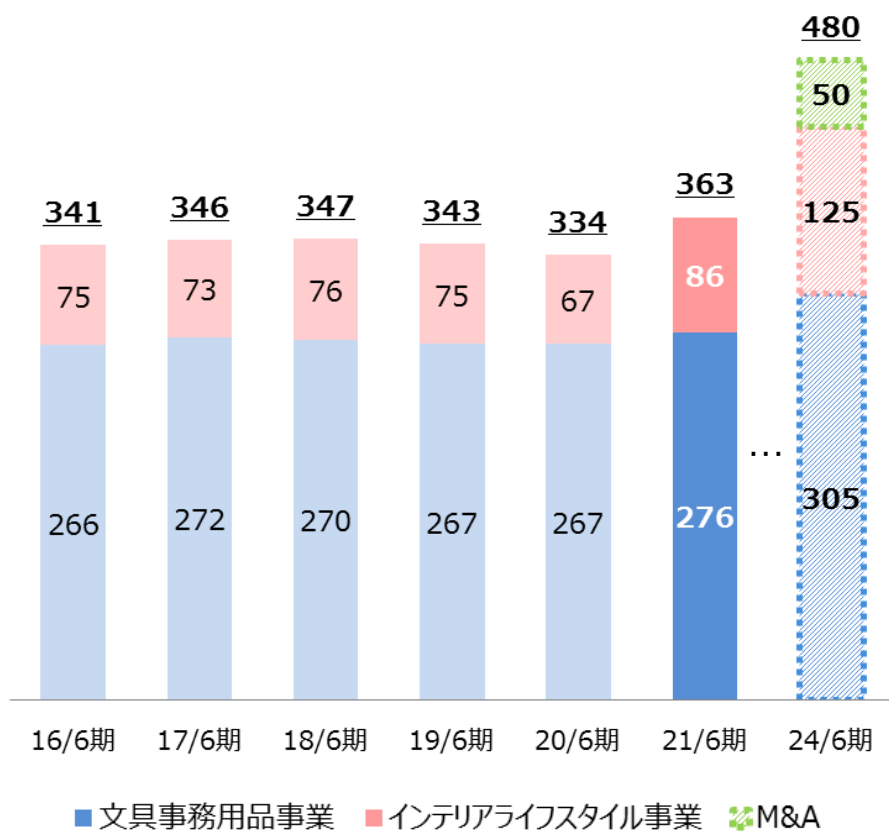
ROE

9%

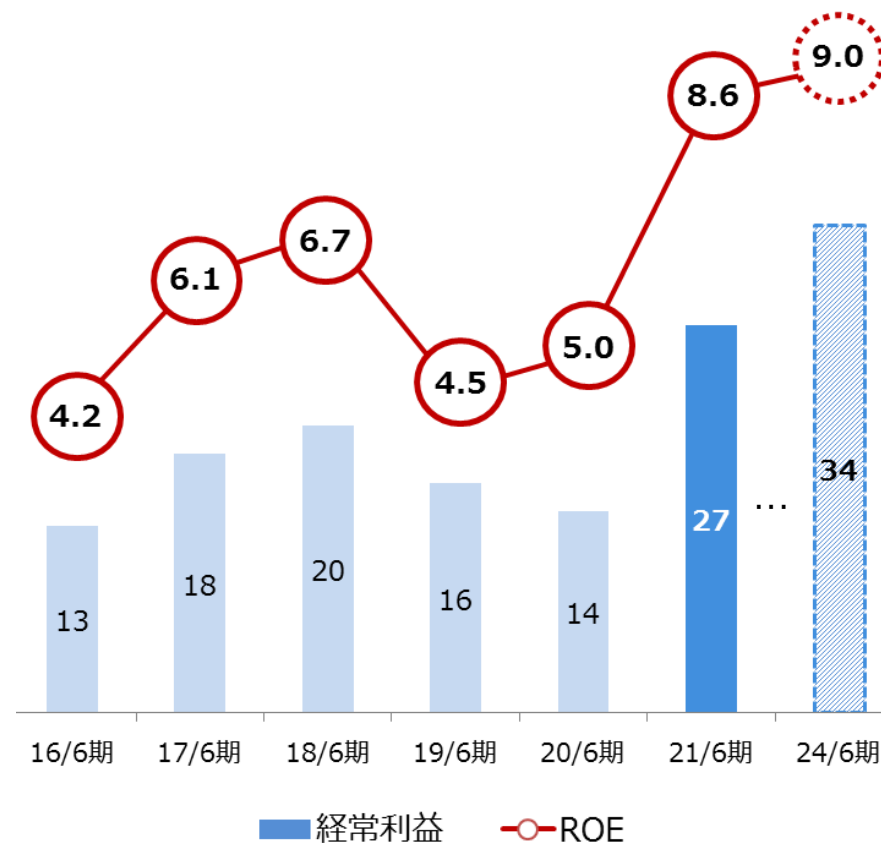


第10次中期経営計画 経営数値目標

売上高 (億円)



経常利益 (億円) ・ ROE (%)



キングジムは
暮らしとビジネスを快適にし、
「あたらしさ」にこだわり続けてまいります。

おどろき、快適、仕事と暮らし

